

施政概要

(案)

平成28年第4回(12月)市議会定例会

四街道市

※ 予定事項等が含まれていることや11月22日時点の内容であることから、今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、平成28年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、ごみ処理施設については、次期ごみ処理施設建設等に関する連絡協議会において、引き続き施設建設事業及び地域振興事業等の協議を進めるとともに、11月27日には吉岡区において、「公害防止協定書（案）」の説明会を行いました。また、10月に「循環型社会形成推進地域計画」を千葉県へ提出したほか、「一般廃棄物処理施設整備基本構想」の策定については、ごみ処理対策委員会のご意見を踏まえ素案を作成したことから、現在、パブリックコメントを実施しているところです。

排水対策の推進については、四街道西中学校周辺の道路冠水を軽減するため、四街道西中学校雨水地下貯留施設約3千トンのうち、約1千トン及び流入流出施設の工事を実施しているほか、残りの貯留施設約2千トンの工事についても契約手続を進めています。

また、四街道雨水幹線の溢水軽減策として、文化センター駐車場に設置する雨水地下貯留施設に係る整備工事を引き続き進めており、本体工事については年内に完了する予定です。

地方創生の取組については、中心市街地等の活性化と印旛地区への交流・移住の促進を目指した「いんばの玄関口“四街道”交流移住コンシェルジュ事業」において、企業組合が実施主体となり運営する印旛のアンテナショップ「icoba 四街道1丁目」、交流移住を支援する「まちのコンシェルジュ四街道1丁目」及び無料宿泊所が、10月9日にオープンしました。今後は、これらを拠点に本市を含む印旛地域7市2町の魅力発信と地域の活性化が図られるよう、企業組合を支援してまいります。

広域行政の推進については、本市、千葉市及び市原市における保育事業を中心とした子ども・子育て支援サービス等の広域連携として、管外保育利用における申請要件の一部緩和を11月入所申請分から適用したところです。

また、3市連携事業として、本年度の市産業まつりに千葉市及び市原市にも

出店いただくとともに、市原市が開催した「上総いちはら国府祭り」、千葉市が開催した「千葉湊大漁まつり」に本市も出店させていただき、市のPRなどを行いました。

本市、千葉市及び東京情報大学との連携により実施した「中学生のための起業体験講座」では、本市の中学生2名が参加し、会社の設立や運営の仕組みを学習するとともに、グループで考えた事業計画を基に「若葉区民まつり」に出店するなど、実際の起業を体験しました。

計画的な行政運営の推進については、総合計画の計画期間後半となる31年度から5か年を対象とする「後期基本計画」の策定に向け、11月中旬から18歳以上の市民3,000人を対象に市民意識調査を実施しています。

ふるさと寄附の取組については、本市の魅力をより知っていただくため、11月1日から1万円以上のふるさと寄附金をいただいた方へ市の魅力ある特産品等を贈呈する新たな「四街道市ふるさと寄附」を開始するとともに、本市専用の相談・受付ダイヤルとインターネットから申込みが可能なポータルサイトを開設し、より利用しやすい環境を整備しました。

11月1日に行いました市表彰式では、リオパラリンピックのマラソンで活躍された岡村正広氏をはじめとする25名の方々に功労表彰を、1名の方に善行表彰を授与いたしました。受賞されました皆様におかれましては、今後とも一層のご活躍を祈念申し上げます。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」の分野でございますが、子ども家庭支援については、来年度に開始予定の「ひとり親家庭の児童に対する学習支援事業」の実施に向け、ひとり親家庭を対象に、生活状況、要望・意見などを把握するためのアンケート調査を行うなど、諸準備を進めています。

高齢者支援については、来年4月から開始する「介護予防・日常生活支援総合事業」のサービス内容や基準等について、11月15日に事業者説明会を開催しました。

健康づくりについては、30年度から10か年の計画期間となる「第2次健康よつかいどう21プラン」の策定に向け、11月中旬から市民意識調査を実施しているほか、来年1月から関係団体等との意見交換会を開催する予定で準

備を進めています。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」
の分野でございますが、消防・救急については、四街道市シルバー人材センターに登録されている応急手当指導員により、救命率向上を図るための救命講習会を開催するなど、引き続き応急手当の普及活動の推進を図っています。また、市民の防火意識の高揚を図るため、11月12日、13日の両日に中央小学校を会場に「消防フェスティバル 四街道2016」を開催し、盛会裏に終了しました。

消防団については、消防フェスティバルにおいて、地域防災の担い手として活動していただける消防団員の入団に向けた広報活動を行いました。

消費者保護については、市産業まつりに合わせて、消費生活の情報提供と各団体の日ごろの研究や活動を発表する場として「くらしに活かそう 消費者の知恵」と題して消費生活展を開催しました。また、これまで消費生活講座を4回開催し、消費者被害を未然に防止するための啓発活動に努めています。

基本目標3「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」
の分野でございますが、子ども教育については、いじめを見逃さない学校づくり、人権意識の高揚を目的とし、12月10日の「世界人権デー」に合わせ、11月11日から12月9日まで、市内全小中学校において「いじめ撲滅キャンペーン」を実施しています。期間中は、学校の実情に応じて、いじめ撲滅に向けたクラス討論会などを行っています。

また、「第三次子ども読書活動推進計画」の策定については、11月2日に第3回読書活動推進計画策定委員会を開催し、委員会のご意見を踏まえ、計画素案を作成しました。今後、パブリックコメントを実施した上で、本年度中の策定に向け、作業を進めてまいります。

青少年健全育成の推進では、青少年補導委員と協力し、定期的を実施している街頭補導に加え、11月11日に県下一斉広域列車パトロールを実施しました。また、12月9日には隣接地区との連携を図るため、千葉市との合同パトロールを実施する予定です。

文化・スポーツについては、10月23日から11月13日まで、文化センターを会場に市民文化祭を開催し、一般及び児童生徒の作品展示、ホールでのステージ発表など、合計40の事業を実施して多くの皆様にご参加をいただき、盛会裏に終了しました。

また、体育の日の行事として、10月8日に総合公園体育館を主会場に「スポーツde健康大作戦」を開催し、体力・運動測定をはじめ、各種健康及びス

ポーツに関するプログラムを実施しました。

11月20日には、「第19回四街道ガス灯ロードレース大会」を開催し、3,600名を超える多くのランナーの参加申込みをいただき、盛会裏に終了しました。

基本目標4「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」
の分野でございますが、循環型社会については、8月に策定しました「一般廃棄物処理基本計画」に基づく循環型社会形成の推進に向け、市役所玄関前に家庭用使用済みインクカートリッジを回収するための専用回収箱を設置しました。

住環境については、10月1日から物井、長岡、栗山の一部で住居表示を実施し、もねの里一丁目及び四丁目から六丁目への名称及び区域の変更を行いました。

生活基盤については、大日萱橋台13号線及び山梨地先の排水工事を発注するとともに、大日緑ヶ丘34号線排水工事の発注準備を進めています。また、鹿放ヶ丘地先排水路整備工事を発注したほか、東部排水路整備工事の契約手続を行っています。

水道事業では、安定した給水と安全性を確保するため、鹿渡地先ほか1か所において、狭小管の入替えなどの配水改善工事等を発注しました。

基本目標5「にぎわいと活力にあふれるまち」
の分野でございますが、道路・交通については、都市計画道路3・3・1号山梨臼井線において、関係地権者のご協力をいただき、全ての用地取得が完了しました。今後も引き続き道路新設改良工事を進めてまいります。また、3・4・7号南波佐間内黒田線では、道路詳細設計及び地質調査を進めているほか、大日五差路の交差点改良事業では、引き続き用地取得に努めています。

交通環境の整備では、鹿放ヶ丘半台1号線の舗装修繕工事を発注したほか、鹿放ヶ丘2号線の舗装修繕工事の契約手続を行っています。

市街地形成については、独立行政法人都市再生機構が施行する物井特定土地区画整理事業において、9月30日に換地処分のお知らせが行われたことから、現在、千葉地方法務局佐倉支局において、区画整理登記が行われています。

都市核等の計画的形成では、四街道駅北口広場再整備事業における計画の変更案について、パブリックコメントを実施しました。今後、提出されたご意見等を踏まえながら、事業の推進に向けて取り組んでまいります。

産業については、「みつめよう わがまちふるさと 四街道」をテーマに「第40回四街道市産業まつり」を11月12日、13日の両日に四街道中央公園を主会場に開催しました。各関係団体のご協力の下、農産物や商工業製品の展

示、販売等が行われ、盛会裏に終了しました。

農林業では、市民と農業者の積極的な交流を通して都市近郊農業の推進を図るため、認定農業者を講師に迎え、子育て世代を対象に市民親子農業収穫体験講座を6回開催し、15組37名に参加いただきました。

基本目標6「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」の来年度に向けた提案募集が11月10日で終了し、現在、事業提案者と提案内容についての意見交換を行っています。今後、公開プレゼンテーションによる審査を経て、来年度の採択事業を決定してまいります。

また、本年度に、この制度を活用している「Y・Y・NOWSON」の取組が、県内における市民活動団体の連携事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例を表彰する「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」を受賞しました。なお、本市においては、昨年度の「チームよつてら」に続いて二年連続の受賞となりました。

シティセールスについては、10月4日から市ホームページのデザインをリニューアルするとともに、スマートフォンに対応することで市民がより利用しやすいホームページとしました。また、ドラマチック四街道プロジェクトとして、来年1月に予定する「日常こそ、ドラマチック展」の開催に向け、準備を進めているところです。

行財政運営については、昨年12月に総務大臣から通知のあった「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について」に基づき、二要素認証システムの導入や、総合行政ネットワークとインターネット回線の分離を進めています。また、インターネット回線については、県及び県内市町村で共同構築する「千葉県自治体情報セキュリティクラウド」の仕様が明確になったことから、来年6月末までに接続できるよう準備を進めているところです。

共生社会については、10月7日に姉妹都市のリバモア市から短期留学生20名と随行者及び訪問団15名が来市しました。翌8日には、四街道市国際交流協会主催による歓迎パーティーが行われるなど、ホストファミリーをはじめとする多くの市民との交流が深められました。なお、来年3月には、本市から20名の短期留学生をリバモア市へ派遣する予定で、現在、準備を進めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年11月28日

四街道市長 佐 渡 斉